

君羊くま来

第 62 号

平成18年11月30日発行

何の魚かな？

(9月9日～10日 農林水産フォーラム)



所長就任に当たって

秋田県農林水産技術センター水産振興センター
所長 工藤 泰夫

この度の定期人事異動に伴い、所長を拝命し4月1日付けで就任しました。県庁に採用されてから、水産行政17年、試験研究18年の勤務を経て今年で36年目になります。

県内の漁業を取り巻く諸情勢は、資源の減少、魚価の低迷、漁業者の高齢化と担い手不足等に加えて、エチゼンクラゲの来遊に伴う被害や、燃油価格の高騰等非常に厳しい状況にあります。

県では栽培漁業と資源管理型漁業の推進をしており、センターでは、漁場環境の研究やハタハタ等の重要水産資源研究、マダイ、ヒラメ、貝、海藻類の増養殖研究、河川のサケ・マス、アユや、湖沼のワカサギ、シラウオ、ヒメマス等の資源研究に取り組んでおりますし、エチゼンクラゲの被害軽減対策も実施しており、少しでも漁業者のために成果を上げるよう努力していますので、御意見や御要望等をお待ちしておりますとともに、一層の御支援と御協力をお願い致します。

秋田県漁業士会主催

漁師直売イベント「秋田の海の幸・産地直送」

県産魚介類を多くの消費者に知つてもらおうと県漁業士会の直売イベントが6月3日、秋田市土崎港の秋田県漁業協同組合活魚・鮮魚直売センターで開催されました。

八森、北浦、金浦など県内主要漁港に水揚げされたマダイやヒラメ、カレイ、ホッケ、サザエ、イワガキのほか、漁獲量が少なく県内市場では、ほとんどお目にかかるない「隠れた最高食材」であるスガヨ、ショウフクジ、カスペなども販売されました。

開店9時前には100人を超える行列が出来るほどの人気ぶりで、開店と同時に会場内はごった返し身動きのとれない状況になり、準備した約1,000kgの魚介類は昼前にほぼ完売しました。特に100円コーナーは人気が高く、瞬く間に「売り切れ御免」となったほか、アジの袋詰め放題や漁師手作りアンコウ鍋の販売も大好評でした。

会場では、直売や漁師などについて消費者がどのような感想をお持ちかアンケート調査も行われました。

この大成功に終わった直売会について、漁業士会では、「次はどうにしようか?」と、話合いが持たれているところです。



開店前からの行列



超人気100円コーナー



ごった返す店内



アジの詰め放題コーナー



漁師特製アンコウ鍋

事業成果紹介 海洋資源部

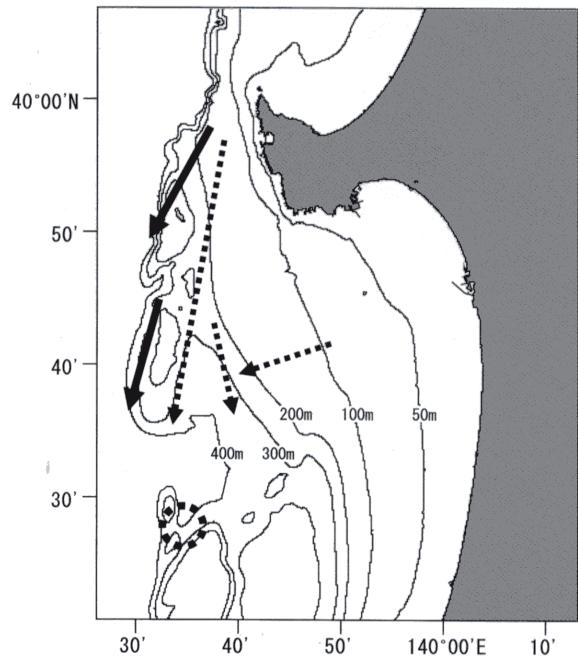
ハタハタ当歳魚の移動経路

【はじめに】

魚は、卵からふ化して、仔魚→稚魚→未成魚→成魚と成長しますが、近年、ハタハタ新規加入量予測(2歳魚の資源量予測)の精度向上には、ハタハタが稚魚から未成魚になる時期の調査が重要であることが分かってきました。そこで本年度は、千秋丸及び第二千秋丸を使用し、これまで不明な点が多かった5月下旬以降の水深200~350mにおける、平成18年生まれのハタハタ当歳魚(稚魚及び未成魚)の移動を調査したので紹介します。

【成果】

有効調査回数は35回(千秋丸4回、第二千秋丸31回)で、そのうち25回でハタハタ当歳魚の採集に成功しました。その結果、移動経路は、戸賀沖から向瀬及びシグレ東側を移動する経路(点線矢印、昨年以前にも把握されていた)に加え、向瀬及びシグレ西側を移動する経路(実線矢印)、さらに移動元は不明だが、白瀬北端(点線円内)にもハタハタ当歳魚が生息することが初めて確認されました。今後ともこの調査を充実させ、予測精度の向上に努めていきたいと思っています。



トピック 企画管理班

参観デー、無事終了

8月19日に、水産振興センターで「参観デー」を開催しました。夏休み中の小学生を対象に、「これで夏休みの自由研究もOK、宿題総仕上げのお手伝いを！？」という趣旨で企画したものです。ところが、子供たちへの宣伝が大幅に遅れてしまい、所内で飛び交う「だれも来ねんでねが？」という冗談も、開催が近づくにつれて現実的になってきました。開催まで、担当者はシクシクする胃を押さえつつ、非常に緊張感ある毎日を過ごすことができたということです。

開催当日は大盛況とまではいきませんでしたが、

合計188人(子供60人、大人128人)の方々が参観デーに訪れてくれました。会場では、磯の生物に直接触れることができる「ふれあい水槽」が大人気で、子供達から大きな歓声が上がりいました。また、親子で参加できる「海藻標本づくり」や「プランクトン観察」のコーナーも好評で、にぎわいを見せっていました。このほかには、調査用具や漁具の展示、研究発表などが行われました。会場では、子供たちが魚介類を目の前に真剣なまなざしで向かい合い、また、笑顔でふれあう姿を見ることができ、苦労した甲斐はあったかなあと思っています。もっとも、宿題の手助けとなったかどうかは分かりませんが…。



人事異動・新規採用者紹介

退職 佐々木 攻

転出 山田 潤一(水産漁港課)

転入 渋谷 和治(水産漁港課)

〃 船木 栄一

〃 秋山 将(企画経営室)

〃 斎藤 寿(水産漁港課)

転出 佐藤 稔(県立大学)

〃 武藤 靖(県立大学)

〃 斎藤 和敬(水産漁港課)

〃 大竹 敦(水産漁港課)

〃 佐々木 陽子(平鹿地域振興局)

新規 天野 正義

編集後記

ページ数が従来の半分となってしまいましたが、これまで以上に内容を充実させていきたいと思います。(企画管理班)